

〈注射剤調剤の基本技能取得のための研修会に参加して〉

蔵本薬局 大田浩之

去る3月15日安田女子大学主催による、注射剤の無菌製剤に関する研修会に参加してきました。近年、在宅医療の推進が求められている中、薬局に勤務する薬剤師も無菌製剤の知識及び技能の習得が必要視されてきています。注射薬の無菌製剤とは混合時に微生物や異物汚染を回避し、個々の患者にあったメニューを的確に調剤することが目的ですが、抗がん剤などの細胞毒性のある薬剤も取り扱う場合もあるため、調剤者自身の被爆にも注意せねばなりません。

今回の研修会では安田女子大学薬学部内の模擬クリーンルームで研修させていただきました。スケジュールは午前水内義明先生による「注射用製剤の品質管理」、新井茂昭先生による「薬局における無菌調剤について」の講義を受け、午後は実際に実技を行いました。

水内先生の講義では、クリーンルーム、クリーンベンチの原理・清浄度、空気中の塵埃・微生物数の測定場所別資料等、様々な貴重な資料をお示し頂きました。その中でも清潔部位と不潔部位を正確に把握することで、目に見えない細菌に対して目に見えているように行動することが重要との話が印象深く感じられました。また現在、薬局では無菌製剤処理を行う為の専用の部屋はなくても無菌製剤処理加算の算定が出来ますが、クリーンベンチのみの環境下ではクリーンベンチの設置場所の検討や無菌処理もより意識して行う必要があることを身をもって実感しました。

新井先生の講義では、大学病院時代の経験を踏まえ中心静脈栄養(TPN)の無菌製剤、抗がん剤のミキシング、アンプルカットの特徴と注意点、バアルのコアリング原理、混合手技の注意事項、シリンジ・点滴バッグ・注射針等の種類について講義頂きました。調剤薬局ではあまり馴染みのないバイアルやアンプル製剤の使用 방법에始め戸惑いはありましたが、実技を行ううちに参加者の殆どが抵抗感なく使用できるようになりました。



午後からの実技内容は、手洗い、手袋の装着、クリーンルームへの入室、クリーンベンチでの注射調剤等を行いました。注射薬の無菌調剤ではあらかじめ用意された7つの処方に沿って、各々時間の許す限りクリーンベンチ内でアンプルやバイアル製剤を点滴バックに混合する操作を体験しました。クリーンベンチ内での調整時の手順・コツや点滴バック・アンプル・シリンジ等の使用順(動線)に沿った配置について、臨床経験豊富な先生方ならではのこまかいアドバイスがあり奥深さを感じました。

研修会を経て、実際に運用する為にはいくつかの課題も見えてきました。例えば、クリーンベンチの設置、無菌処理の手技・知識・経験、調剤後の在宅での管理方法、家族・介護スタッフへの指導など。調剤薬局の薬剤師による注射薬の無菌調剤はチーム医療の一員として望まれている業務と感じる反面、これらの課題の解決と注射薬に対しても高い専門性が求められていく事と思います。今回の研修会では、終始参加者からは積極的に質問が出て、その度に先生方から補足説明を頂いたり、充実した研修会になりました。

最後になりましたが、この研修会を企画・ご協力して頂いた安田女子大学の先生方、お忙しい中誠にありがとうございました。

